

小麦物語

小麦は世界の主食
本気で自慢しよう！
「小麦」のこと

日本ではお米が主食ですが、世界の多くの国にとっては小麦が主食に近い作物です。熊谷はそんな小麦の生産量が本州でトップクラス。どうしてなのか...
地元っ子ならではの「小麦自慢」をお伝えします。



第1章

二毛作と麦踏み〜権田愛三

ゆつたりと大きな河と
太陽の恵み

そもそも小麦は肥沃で水はけのよい土地に育っています。近頃とても人気があるドイツのライ麦パンは、山間で暮らす人たちが、寒冷地でも育つライ麦を小麦の代わりに使った



小麦畑

熊谷の麦作りは江戸時代から始まっています。恵まれた自然環境は良質な小麦を育てていましたが、収穫が安定せずに食料不足になることがありました。しかし、江戸の後期、そのことに胸を痛めた人物が現れます。後に「麦王(麦翁)」と呼ばれた権田愛三です。根張りを良くするため、早春に行う「麦踏み」と、稲作が終

自然自慢から人自慢へ

ものだといえます。熊谷は荒川と利根川、二つの大きな河川の流域にあって、年間を通して降水量が少なく日照率が高い、小麦作りには最適の土地だということです。また、雪が少ない気候は「二毛作」という画期的な生産方法を生み出しました。

わった冬に栽培できるようにした「二毛作」は、愛三の研究に研究を重ねた結果、収穫量を4倍から5倍に増やすことになりました。その成果は日本全国に広まり、愛三は技術指導のために300以上の地方を訪れたといえます。まさに日本小麦生産中興の祖。国は緑綬褒章、大礼記念章を授与しました。愛三の功績は今も脈々と「ふるさと熊谷の小麦」に受け継がれています。



麦王(麦翁) 権田愛三

想いが伝わる熊谷小麦の物語事業「紙芝居」

平成27年度
市民協働
事業

熊谷小麦産業クラスター研究会



郷土の偉人である、麦王・権田愛三の生涯を通して、郷土熊谷、熊谷の小麦、熊谷の農業に関心をもってもらうために、特に小学生向けの紙芝居を作成し、市内の小中学校で地域食育の教材として利用してもらう。

去る10月27日、別府小学校四年生の子どもの前で、紙芝居の試作を披露した。

お米とたまごのことなら「ライス・スクエア」
松本米穀精麦(株)直営ネットショップ <http://www.naozane.co.jp>

こだわり続ける

子宝漢方

漢方不妊研究36年の実績と豊富な知識でサポート！
漢方薬局 慈恵堂は、漢方不妊症大家 寺師陸宗先生に師事した経験を活かした実績ある漢方で、妊娠しやすい体づくりをめざしています。

薬局のスタッフは、川島恵司先生、琴江先生の仲良し夫婦。二人ともA級国際中医師(認定試験合格)です。「フェイス・トゥ・フェイス」をモットーに、親身な相談で未来のパパ&ママを応援します。

※基礎体温表をおつけの方は、ご相談にお越しの際にお持ちください。



薬剤師・鍼灸・指圧師 川島恵司
Keiji Kawashima

薬剤師・臨床検査技師
不妊カウンセラー・学会会員
子宮がんセンター 川島琴江
Kotae Kawashima

二人揃って漢方薬・生薬認定薬剤師です。

生薬の香り漂う店

信頼の36年
漢方薬局

慈恵堂

オーダーメイド漢方薬

048-524-4953

熊谷市星川11-4(星川通り)
営業時間 10:00~18:00
定休日 水曜・日曜・祝日
毎月一日

漢方薬局 慈恵堂 検索
HP内の「子宝ひろば」
更新しました

